

## 当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

### 肺への異常血管に対するカテーテル治療（塞栓術）の有効性と安全性に関する研究

#### 1. 研究の対象

2023年1月～2026年2月の間に、当院で肺への異常血管（肺低動脈大動脈起始症、横隔膜内肺分画症、下横隔動脈-肺動脈瘻）に対してカテーテル治療（塞栓術）を受けられた方

#### 2. 研究目的・方法

##### <研究の目的>

肺への異常な体動脈供給（肺低動脈大動脈起始症：ASASBS、横隔膜内肺分画症：IPS、下横隔動脈-肺動脈瘻）に対する血管内治療は、高流量かつ太い流入血管を伴うことが多く、正確な塞栓技術が求められます。特に、正常組織への非標的塞栓を避けつつ、限局した範囲で確実に遮断する（短区域閉塞）ことが重要です。本研究では、当院で実施した症例の検討を通じ、血管形態や血流動態に応じた、個別化された塞栓戦略の技術的成功率、安全性、および臨床経過を評価することを目的としています。

##### <研究の方法>

診療録（カルテ）および画像を用いて手術が計画通りに成功したか、手術時間や使用した器具、不具合や合併症がなかったか、治療後の体調や画像の変化がないかなどを評価します。

この研究は、2028年3月31日までを予定しております。

#### 3. 研究に用いる情報の種類

手術記録（手術時間、使用器具、不具合や合併症等）、術前術後の画像（CT・血管造影等）、術後経過（治療後の体調変化）等

なお、本研究で得られた情報を将来別の研究に利用する場合には、改めて臨床研究倫理審査委員会の承認を受けた上で実施します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒140-8522 東京都品川区東大井6丁目3-2 2

研究責任者 東京品川病院 放射線科 竹下 洋平（病院代表電話：03-3764-0511）

（2026年3月25日作成）